

单元名 『I want to go to Italy.』

- 1 本時の位置（全時間扱い中の第2時）

前時：夏休みにどこに行ったのか聞き取ろう。

次時：自分の行きたい場所を決めよう。

2 本時の主眼

英語の表現を使って様々なゲームを楽しみたいと感じている子どもたちが、場所を表す様々な英語の表現に慣れ親しむ場面で、ミッシングゲームで発音してみたり、イングリッシュカルタに取り組んだりすることを通して、場所を表す様々な英語の表現を聞き分けながら、それらの表現に興味をもつことができる。

3 指導上の留意点

- ・分からない単語の発音などは、ALTに尋ねるよう指導する。

4 本時の展開

段階	学習活動	予想される子どもの反応	時間	指導・援助と評価
導入	1 Hello Song を歌う。	・面白いな。 ・リズムが耳に残るね。 ・口ずさむ。 ・なんて言ってるのー？ ・歌詞はどういう意味なんだろう。	5	・Let' s sing "Hello Song". Please stand up. Let' s start. ○子どもが英語の音に親しむことができるよう、全員で歌を歌う。最初は教師が先に歌って子どもが追いかけて歌い、慣れてきたらクラスを半分に分けて追いかけて歌ってみるなどする。
	2 ミッシングゲームを行う。	・答えのカードに書かれた場所を表す英単語を発音する。 ・何がなくなったかな。 ・わかった。 ・枚数が増えたら難しくなった。	5	“What is this?” ○教師が 5 枚のカードを示し、“I have five pictures. ” と言う。そして、“What is this?” と尋ね、描かれた絵の場所を表す英単語をそれぞれ確認する。その後で 1 枚のカードを裏返しにして机に置き、“What' s missing?” と尋ねる。子どもが答えを言ったら、“That' s right.” と言って絵を見せ、答えを確認する。これを何度か行い(途中でカードを増やしたりする)、場所を表す英単語に親しむ。
	3 キーワードゲームを行う。	・よく聞いてないとだめだ。 ・静かにして！ ・キーワードの単語を確認する。	10	○まず始めにキーワードゲームの説明をする(知っている子どもがいたら説明してもらう)。知らない場合は教師が説明をする。
展開	Today's Goal: 場所を表す様々な英語の言い方を知り、表現に慣れ親しむ。			
	Today's Point: ・よく聞こう ・色々な英語を発音してみよう。			
終末	3 場所を表す英語を使って、オリジナルのイングリッシュかるたをつくり、遊んでみる。	・好きな場所は何にしようかな。 ・好きな場所って言われるとわからないな。 ・行きたい場所でもいいかな。 ・絵を描くのかな。	10	・Let' s play English <i>karuta</i>. ○ミッシングゲームで使った場所を表す英語に加え、一人一枚ずつ好きな場所を表す英語でかるたの札をつくり、6 人班でかるたを行う。自分のかるたの裏に名前を書くよう指示をする。 ○説明と札をつくる時間をあわせて 10 分とする。
		・しっかり聴いていないと札がとれないよ。 ・(とった後に) この札は、なんて言っただけ。 ・たくさん札をとれたよ。 ・もう一回やりたい。 ・この英語の発音をもう一回確認したい。 ・札の意味する英語の発音を確認する。	10	○机を端に寄せ、床でかるたを行う ○以下のルールをかるた開始前に確認する。 ・Chang reader when read one card. ・Let' s use many English. ○好きな場所が思い浮かばない子どもは、行きたい場所や最近行った場所でも良いこととする。

	4 ふりかえりカード を記入し、発表する。	・いろいろな単語を覚えられたよ。 ・みんなで作ったイングリッシュカルタができて楽しかった。 ・今日覚えた単語をどこかで使ってみたいな。	5 ・How was today' s lesson? ○子どもが活動を通して気づいたことや慣れ親しんだことが意識できるように、教師が振り返りの場を設ける。 【評価】 場所を表す英語の表現に興味をもったり、それらを使って他者とコミュニケーションをとることができる。
--	--------------------------	---	---